

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	広域交通網整備促進事業			120333	担当課	道路河川課		
	開始年度	平成18(2006)	終了予定年度	平成31(2019)	作成責任者	藤原 謙司			
	歳出費目	款) 土木費	項) 道路橋りょう費	目) 道路新設改良費	決算附属資料	196	頁		
	施策の大綱	道路網の整備			関連計画等	未来創造 福知山			
	施策名	道路のネットワークを充実させる			根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	駅南地域の交通混雑を解消し、郊外幹線道路へ通行車両を誘導するため、道路の新設改良を行ない、市街地の交通体系の充実を図る。福知山停車場奥榎原線は、トラック等の走行が多く渋滞が頻繁に起こっている。広域交通網促進として、バイパス道路を整備することで市街地中心部とのアクセスをスムーズにし、住民交流や観光施設への利用の活性化を図り、さらには緊急避難路として位置付ける。幹線道路として、改良を進めていくことで、夜久野、上豊富方面と駅南周辺の交通網の整備を図ることができる。							
	対象者	道路利用者・地元住民	対象者数	78,612	一人当たりコスト	1.44			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 測量設計業者、土木工事施工業者、土地家屋調査士協会等							
	事業概要	広域交通網促進として、バイパス道路を整備することで市街地中心部とのアクセスをスムーズにし、住民交流や観光施設への利用の活性化を図り、さらには緊急避難路として位置付ける。							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		工事請負費		西町市寺線・福知山停車場奥榎原線(28線29)			68,374		
電気・通信施設移転補償		福知山停車場奥榎原線(28線29)			416				
工事請負費		福知山停車場奥榎原線			33,807				
電気・通信施設移転補償		福知山停車場奥榎原線			1,589				
その他		用地購入費1,418、委託料227、役務費2			1,647				
関連事業									
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		120,000	113,000	8,000			
		補正予算等・・・②		△ 485	△ 6,236	0			
		繰越し等・・・③		△ 68,790	909	67,881			
	財源内訳	一般財源		2,625	7,473	3,881			
		国支出金		0	0	0			
		府支出金		0	0	0			
		地方債		48,100	100,200	72,000			
		その他特財		0	0	0			
		特定財源名称 (H29実績)	旧合併特例債			100,200	市債	50	頁
	職員人件費		従事職員数(正職/嘱託)	0.65/0	0.65/0	0.55/0	/		
		概算人件費・・・④	5,200	5,200	4,400				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			55,925	112,873	80,281				
執行状況	執行額・・・⑥			50,725	105,833				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			100.0%	98.3%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		工事予定路線	路線	0 / 2	1 / 2	/ 2			
				/	/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		工事完了路線	事業	0/2	1/2	/2			
			単位あたりコスト	-	105,833.0				
			/	/	/				
		単位あたりコスト	0.0	0.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・駅南地域や国道429号及び国道9号沿線周辺における交通混雑を解消するため道路網の整備は必要。 ・市域が広い本市にとってバイパス道路を整備し、アクセスをスムーズにする。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・合併特例期間において、充当率の高い合併特例債を活用して計画通りに効率よく事業実施している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・広域交通網として、道路網を整備することは市民生活の利便性の向上が図れる。 ・またアクセス性の向上が図れることから有効性は高い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	本事業は、広域交通網促進として、国道9号及び駅南地域など市街地周辺において頻繁に発生している交通混雑を解消し、郊外幹線道路へ通行車両を誘導するため、バイパス道路を整備し市街地周辺とのアクセスをスムーズにする。また住民交流や観光施設への利用の活性化を図り、さらには、緊急避難路として位置付け、安全で円滑な交通体系の充実を図ることを目的としている。 西町市寺線については、30年度予算をもって完了見込みであり、福知山停車場奥榎原線については、31年度での完了を目指して事業を進めている。	
	今後の課題及び方向性	西町市寺線は、30年度予算をもって完了する見込みであるが、福知山停車場奥榎原線についても早期の全線開通を目指して事業を継続していく。 しかし、公図と現況が合致していないところもあり用地買収などに時間を要しているが、用地買収が整ったところから工事を進めるなど、全体工程を圧縮する方向で事業を進めていく。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		